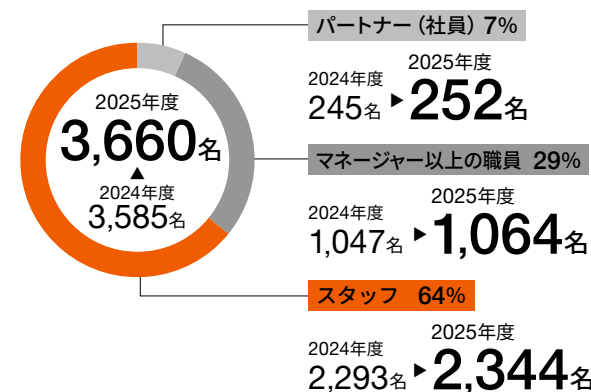


2025年度監査品質指標

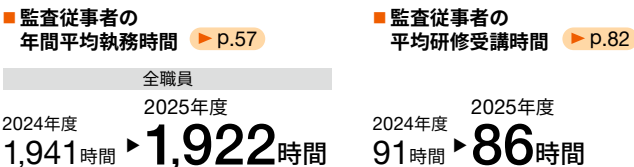
当法人は監査品質を見える化するための取り組みとして監査品質指標 (AQI : Audit Quality Indicators) を設定し、この数値をモニタリングして、必要な改善活動を実施しています。

人財

職位ごとの人員構成



成長支援



一定水準の研修時間は確保できており、全職員に共通して求められる研修に加え、個々のニーズや学習意欲に応じて任意で受講できる仕組みを整え、研修の受講を促進しています。

採用



日本公認会計士および試験合格者等以外の比率



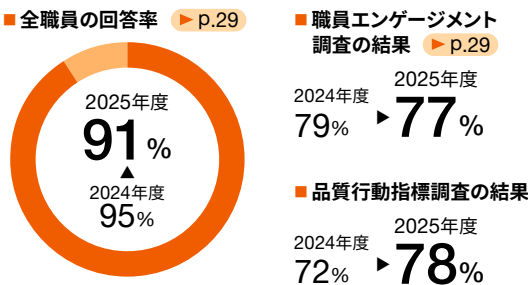
採用形態・専門性・国籍の多様性を意識した採用を進めており、職員構成に一定の広がりが見られています。

多様な経験



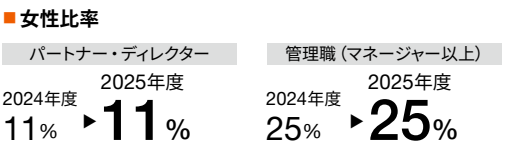
多様なキャリア機会の提供を継続し、人材交流の促進に取り組んでいます。海外出向者数は出向開始時期の影響で一時的に減少していますが、交流機会の拡大に向けた取り組みは継続しています。

意識調査の結果



回答率、職員エンゲージメント調査の結果、品質行動指標調査の結果は目標値を達成し、引き続き高い水準を維持しています。

インクルージョン&ダイバーシティ



女性パートナーや管理職の育成に向けた取り組みにより一定の成果が見られましたが、さらなる進展に向けて継続的な取り組みが求められます。



男性の育児休業取得率は実質的に100%に達しており、十分な育児休業期間を確保するための取り組みを進めています。男女の賃金比率も一定水準を維持し、均衡の取れた職場環境の実現に努めています。

パートナー (社員) に占める海外赴任経験者割合



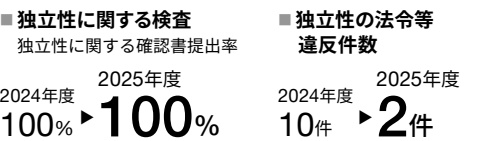
当法人では海外赴任経験者が一定数在籍しており、国際業務における高い対応力を維持しています。

退職率



監査品質を支える取り組み

職業倫理・独立性



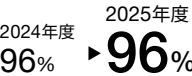
法令違反は全て個人の金銭的利益関係によるものであり、監査業務や法人の客観性・公平性には影響を与えていないことを確認しています。

テクノロジーの活用

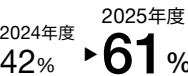
Aura (電子監査調査システム) 導入率



Connect (資料授受プラットフォーム) 上場被監査会社への導入率



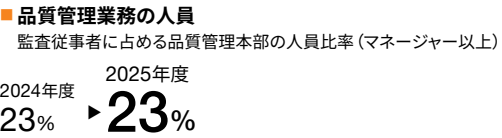
Halo (仕訳データ分析ツール) の導入率



次世代監査プラットフォームの利用にはHaloの導入が必要となるため、全被監査会社での導入率向上に向けた取り組みを進めた結果、導入率は大幅に向上しました。今後は未導入の被監査会社への導入に向けて、取り組みを加速していきます。

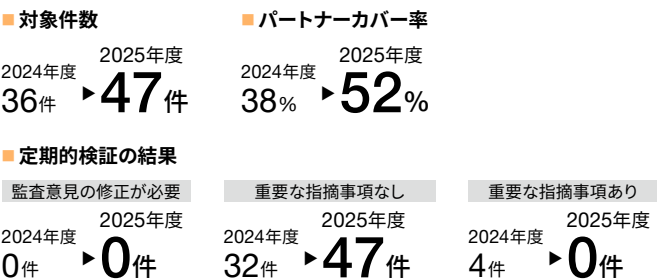
品質管理本部によるサポートおよびモニタリング

品質管理本部のサポート体制整備



監査品質の検証

定期的検証



レビューアーの稼働時間



翻訳ツールの活用により、外国人レビューアーによる効率的なレビューが可能となり、サポートレビューアーの対応時間を大幅に削減できました。

外部検査による処分

設立以降の金融庁による行政処分



未来への投資

PwC Japanグループとしてのテクノロジーへの投資金額



デジタル研修受講完了率



サステナビリティ基礎研修完了者数

